

文芸欄

俳句

梅苑句会(東) 掲載 八二句

錦秋の庵寂寂と尼や逝く 時枝千穂子
淡柿を吊すむこうに故郷あり 山田しづ子
友逝きて淋しき秋の陽のひかり 藤綱 孝子
秋夕焼三疋歩の足賞め やりて 深沢 清子
宝愛句らぶ(中)
行く秋にひとしお老いを感じたり 和子
創作の木の実拾ふや道つつく 悦子
行く秋の来年こそと旅マップ 千枝子
吟行の里山歩き秋過ぐる 道子
行く秋や帰れぬ定め二重橋 丘

短歌

花山短歌会(北)
山燃えて風も冷たく秋進むランニングの人よく行きかう
磯元カヨ子
りんごむく音のかすかに冬の厨切れずに剥けていい事ありそう
船崎めり子

花山の歌会を知りて 十三年短歌は我が大きき支えに 山田加壽代
個人
啄木も久しき中也にヴェルレーヌ新たに知るやお家時間よ
(灘)上田 節子
墓参り息子の車でふるさとに亡き父母に会い嬉しい涙(灘)酒井 郁美

手に一杯どんぐり集め競う児等 和志
木の実落つ耳に楽しき座禅かな 哲男
移り行く巷の風情颯雲 啓臣

梅の美会(兵)

甘噛みの強き猫いる冬座敷 岡田富早恵
廃屋に赤く熟した烏瓜 藤田ユイ子
ばらばらと松葉が落ちる庭手入れ 山口 茂子
これよりはテレビの時間ひざ毛布 栗野 富江
冬支度衣桁に残るシャツ一枚 山田 朝子
乱れ菊自在に咲いて垣根越し 藤井 歌子
大輪の菊美しき相楽園 春 次子
干し柿のすだれ連ねて里景色 林 静野

去年今年蕎麦をすゝりて除夜の鐘昇る朝日は復興の年に
(中)水口 敏子
生きました夫が逝って20余年孫子と集い焼肉ミント神戸 (兵)大賀 清子
それぞれが三角になり丸くなり気儘放題シャネルにはまる
(北)真木香代子
コーヒーの香り芳し元町のカフェで久々友と雑談 (須)江口 啓子
読みかけの本をめくりて秋の風そりりは行く豊みの上を
(西)秋山シズエ
頭上より甘き香りに見上げれば金木犀の黄色き実なる
(西)古西 澄子

青葉クラブ(北)
水鏡割ること沼に木の実落ち 馬場みつえ
かの人は偉業顕著や文化の日 山本 恒雄
病院のバス待つ角や金木犀 前川 弘子
高原ささゆり会(北)
新春や鶴の番の飛翔せる子
虫の音やながら読書で床につき 山下 久一
みてみてとフェンス越えたるコスモスたち 南 久美子
箸進む酒宴の脇役柚子胡椒 佐藤かなめ
七種粥味も円やかなおんな 若林 節子
秋遍路思いたちたる風の朝 松村二三枝
ひまわり句会(北)
天を突く皇帝ダリア開花待つ 辻 寿賀子

徐行しつ走る丹波路冬紅葉 石井 敏子
ひよどり台句会(北)
駅ホーム千個の干柿つるされし 塩見 光子
閃閃と落日の海鳥渡る 田中 弘子
三年は生きるつもりで日記買う 筒井 豊子
子も五十路話濃くなる星月夜 中井 光子
杖の歩に合はず歩巾や落葉道 矢谷登美子
北斗句会(北)
たなうらに磨ぎ汁流す秋の暮 金行 隆
厳かな祝詞に欠伸七五三 岸下 庄二
スニーカーブーツヒールに紅葉散る 藤井久美子
天平の螺鈿細工や文化の日 脇坂有多子
散り紅葉川床深しねねの橋 秋山 弘之

一匙のおろしりんごや母を抱く 増田 嗣夫
語り部が一節聞かず文化の日 北条 幸夫
菊芋の掘り上げ日和小松本 洋子
散紅葉古寺の天空現はるる 黒田 久江
虚子館や桂紅葉の散るベンチ 久松 礼子
正座してこの凶作の紅葉見る 祇園 明敏
福寿草句会(須)
新酒酌み昭和に浸る旧仲間 林 慎一
手ひねりの揃ひの猪口の新酒かな 岩田美代子
新酒先づ神饌として拜殿に 上原 綾子
友の情新酒に込めて荷の届く 松下修二郎
新酒提げどんと置きたる左利き 藤田 栄一
故郷の歌も懐かし赤とんぼ 高見希豫子

寂聴さん白寿ごえのチヤミソング 大和ケント
筑栄会(北)
介護者を支援する我鏡見る かほう
行革でハンコ廃止もコロナでパー 三茶
紅葉をながめ一服有馬の湯 ヨシ
山紅葉負けずにも変身す とき子
寒さ増し愛猫ふたつ抱え込む としこ
世界地図ひろげて見ると脳トレに まり子
テレビ欄今日の一日支配され まさこ
個人
成人式伴侶に合うは何時なのか(東)増田 芳之
楽しめた二月の一句で筆終い (中)あさとし

先ずは聞く何並んではる?年の巧
(北)植田きみ子
もどかしいそう語る人おくゆかし (北)かんいち
初夢はフライ・ミー・トゥ・ザ・ムーン (北)北野 利一
始まりは観光船で来たコロナ (北)宮内美奈子
女医さんにほめられご機嫌おじいちゃん (北)竜太
八十路過ぎ「ライン」とやらの友となり (長)藤原 道彌
若作りしてもお肌は正直よ (垂)小高 肇
お雑煮は密の時だけ召し上がり(西)萩原 浩一
干柿で我家のベランダ赤のれん(西)藤長 文子

多聞台ときわ会(垂)
砂塵舞い風一号来たりしか 大畑留理子
木枯の中泣き顔の母といく 中村佳代子
軽トラに満載の大根艶かし 久下 順司
寄り道のコンビニ大根独り酒 樋山 隆夫
木枯や別れし人の背は丸く 山本雄二郎
昆布巻きぶり大根に母想ふ 木村 敏博
きらく句会(西)
傷心も仕舞ふ抽斗十三夜 森本 珠実
暮早し玻璃戸に犬の不安顔 山本スミ子
二年経て雑木黄葉の再診日 大橋 治子
昨夜長グラス片手に詰将棋 喜田 弘征
空澄て淡路を望む墓地に立つ 阪本 道子
一万歩目指し千歩で日向ぼこ 田野 湯仙

月が丘むつみ会(西)
落葉ふむ朝の散歩怪気も晴れし 藤森 勝子
暮れ懸る秋の山染め大落暉 川上 富範
実を一つ残して木々は冬めきぬ 武井 勇二

金木犀手繰る香失せてうら悲し
(垂)大上 昭敏
晩秋の夕日真っ赤に沈む丘 (垂)藤田 恵子
離宮苑追ふ眼ざしに冬の蝶 (垂)山田としゑ

冬晴間残る月日の軽さかな (西)小幡美沙子
夕暮れに田んぼの煙秋深し (西)芝田 律子
放棄畑アワダチソウや花の宴 (西)寺岡 洋子
行く秋を惜しむが如く蜻蛉飛ぶ (西)水澤 清

招く菊みなの笑顔が見たくって
(西)松井 文子

へなぶり
(北)清水 久子

あとかき
昨年一年間はコロナ騒ぎで、老人クラブの行事もほとんど出来ていません。今年はどうなるでしょうか。高齢者同士の集い。スポーツや旅行など。再開してほしいですね。待っています。

あとかき
昨年一年間はコロナ騒ぎで、老人クラブの行事もほとんど出来ていません。今年はどうなるでしょうか。高齢者同士の集い。スポーツや旅行など。再開してほしいですね。待っています。

しあわせの村 本館・宿泊館
1泊2食付き 季節の宿泊プラン
2022年2月28日(月)まで
本誌ご持参の方に限り
お一人様につき、1,000円割引いたします。
極 高年齢・障がい ¥10,500 ~
松 高年齢・障がい ¥8,700 ~
竹 高年齢・障がい ¥7,800 ~
梅 高年齢・障がい ¥6,000 ~
078-743-8000

借金 離婚 遺言・相続 交通事故
老人クラブ会員 初回相談料 無料
丁寧にお話をお聞きます。
安心してご相談ください。
神戸山手法律事務所
TEL 078-335-5122

相続・終活
老人クラブ会員様 初回相談無料
開所して16年。たくさんのご相談、ありがとうございます。
あじさい総合事務所
TEL 0120-931-323
神戸市中央区多聞通3-2-9 甲南スカイビル11階 TEL 078-595-9200

神戸山手法律事務所
神戸市中央区中町通2-3-2 三共神戸ツインビル10F
Eメール: kobeyamate.law@gmail.com
TEL 078-335-5122